

花粉症について

東洋鍼灸院 田中俊男

はじめに：花粉症の発生機序や治療薬に関しては他書を参考にして頂きたい。
当院で出来る花粉症の治療法を公表してみたい。

治療法：1. ゴマ油を鼻に塗り花粉をブロック

2. 小麦、米などを止め、アレルギー改善
米アレルギーの話

3. 乳酸菌(フェカリス菌など)の選択で免疫up

4. 肺経の乾布摩擦で喉の強化

5. 小青龍湯などの漢方治療

6. マスクに小青龍湯を含ませるやり方

7. ひどい方はレーザーで鼻の粘膜を焼く方法

8. もろみ酢の服用

9. 鼻洗浄の実践

10. 花粉団子を食べる

11. 減感作療法ー症状別効果

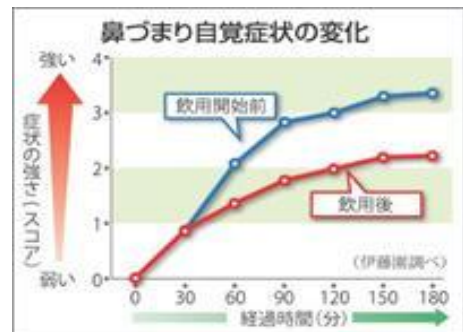
12. 太衝(足のツボ)への鍼

13. テロメアを上げるやり方

14. 青汁を使う方法ー下痢の話

15. 大椎(首のツボ)への灸

16. 鼻マスクー実験中ー口と鼻の違い



参考資料：<フェカリス菌>

整腸剤などに使われている乳酸菌の一種「フェカリス菌」に、スギ花粉症の症状を緩和する効果もあることが、伊藤園(東京都渋谷区)の研究で分かった。加熱殺菌済みで常温保存可能な市販のフェカリス菌入り乳性飲料を花粉症患者に一定期間飲んでもらい、自覚症状の変化を調べたところ、鼻づまりなどの症状が大幅に改善されたという。研究では花粉の飛散状況などの条件を正確に再現するため、NPO法人「日本健康増進支援機構」(和歌山市)の屋内施設で調査を実施した。花粉症患者20人がいる部屋の中に、飛散のピーク時を想定した1立方メートルあたり8000個のスギ花粉を人工的にまき、患者の反応をみることにした。まず飲用開始前の昨年9月、「鼻づまり」「鼻をかんだ回数」「目のかゆみ」などの項目別に、症状なしから最重症まで0~10の幅でスコア(点数)を入室後30分おきにつけてもらい、平均値を算出。続いて10月から12月にかけて、患者20人に乳性飲料(200ミリリットル、フェカリス菌約1000億個含有)を毎日1本摂取させた。フェカリス菌は非常に微小なのが特徴で、少量でも多くの菌数を摂取できる。2カ月間の飲用後、再び施設内で同様にスコアを調べた。その結果、症状の各項目でスコアの軽減傾向がみられ、とくに「鼻づまり」は入室60分以降でおおむね3割減と大幅に改善したことがわかった。腸内細菌に詳しい光岡知足(ともたり)東大名誉教授は「花粉症は体内に入り込んだ病原菌などの異物を攻撃する免疫反応のバランスが崩れて起こる。フェカリス菌は腸内の“善玉菌”を増やして便通を改善する効果などに加え、このバランスを腸内で整える働きが強い」と分析。さらに「殺菌済みの死んだ菌を摂取しても、その菌体成分(細胞壁の主成分)が小腸の免疫機能を活性化。生きたまま腸に届く菌だけが腸内環境を改善するとは限らない」としている。(中山忠夫)